

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	令和元年11月7日
【四半期会計期間】	第33期第2四半期（自 令和元年7月1日 至 令和元年9月30日）
【会社名】	株式会社フライトホールディングス
【英訳名】	FLIGHT HOLDINGS Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 片山 圭一朗
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区恵比寿4 - 6 - 1
【電話番号】	03 - 3440 - 6100
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 松本 隆男
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区恵比寿4 - 6 - 1
【電話番号】	03 - 3440 - 6100
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 松本 隆男
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第32期 第2四半期 連結累計期間	第33期 第2四半期 連結累計期間	第32期
会計期間	自平成30年4月1日 至平成30年9月30日	自平成31年4月1日 至令和元年9月30日	自平成30年4月1日 至平成31年3月31日
売上高 (千円)	609,439	1,153,566	1,422,196
経常損益(は損失) (千円)	220,240	162,501	403,085
親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益(は損失) (千円)	222,130	163,443	408,947
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	224,118	162,284	410,130
純資産額 (千円)	533,654	185,358	347,642
総資産額 (千円)	989,073	1,610,216	894,275
1株当たり四半期(当期)純損益(は損失) (円)	23.49	17.29	43.25
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	54.0	11.5	38.9
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	69,366	555,211	213,914
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	29,340	53,035	37,376
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	22,208	431,796	2,351
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	600,663	157,167	332,591

回次	第32期 第2四半期 連結会計期間	第33期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成30年7月1日 至平成30年9月30日	自令和元年7月1日 至令和元年9月30日
1株当たり四半期純損益(は損失) (円)	10.68	6.40

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益、雇用環境や個人消費に改善が見られ、緩やかな回復基調が続いているものの、通商問題の動向が世界経済に与える影響など、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客向けのシステム開発及び電子決済ソリューション

(「Incredist」、「Incredist Premium」、「Incredist Trinity」及び「ペイメント・マイスター」)の開発及び販売に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,153百万円(前期比89.3%増)、営業損失は130百万円(前年同期は営業損失244百万円)、経常損失は162百万円(前年同期は経常損失220百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は163百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失222百万円)となりました。

(単位:百万円)

	当第2四半期 (連結)	前第2四半期 (連結)	前年同期比	
			増減額	増減率
C & S事業(*)	437	464	27	5.8%
サービス事業	636	83	552	663.0%
ECソリューション事業	79	61	18	30.0%
調整額	-	-	-	-
売上高	1,153	609	544	89.3%
C & S事業(*)	66	60	126	-
サービス事業	71	169	241	-
ECソリューション事業	5	2	2	113.3%
調整額	142	138	3	-
営業損益	130	244	113	-
経常損益	162	220	57	-
親会社株主に帰属する四半期純損益	163	222	58	-

(*) C & S事業: コンサルティング&ソリューション事業

セグメントの業績は次のとおりであります。

コンサルティング&ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、事業会社の基幹システムリニューアル支援及び既存顧客向けのシステム開発・保守等を行いました。

大口案件の進捗遅れ等により、減収減益となっております。

以上の結果、売上高は437百万円(前年同期比5.8%減)、営業損失は66百万円(前年同期は営業利益60百万円)となりました。

サービス事業

サービス事業においては、電子決済ソリューション(「Incredist」、「Incredist Premium」、「Incredist Trinity」及び「ペイメント・マイスター」)の開発及び販売に注力いたしました。

当期に「Incredist Premium」の大型納品があったことにより、増収増益となっております。

以上の結果、売上高は636百万円(前年同期比663.0%増)、営業利益は71百万円(前年同期は営業損失169百万円)となりました。

ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売に注力いたしました。

売上及び営業損益は概ね計画通り進捗しております。

以上の結果、売上高は79百万円(前年同期比30.0%増)、営業利益は5百万円(前年同期比113.3%増)となりました。

(2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ715百万円増加し、1,610百万円となりました。主な増減要因は、前渡金の増加(545百万円増)及び売掛金の増加(374百万円増)であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ878百万円増加し、1,424百万円となりました。主な増減要因は、借入金の純増加(431百万円増)及び前受金の増加(352百万円増)であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ162百万円減少し、185百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上(163百万円)であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、税金等調整前四半期純損失の計上、売上債権の増加、たな卸資産の減少、並びに借入金の純増加等により、前連結会計年度末に比べ175百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末は157百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、支出した資金は555百万円(前年同期は69百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失162百万円の計上、売上債権の増加額374百万円、たな卸資産の減少額74百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は53百万円(前年同期は29百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出39百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は431百万円(前年同期は22百万円の支出)となりました。これは、借入金の純増加431百万円によるものであります。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、研究開発費59百万円、その他開発費用17百万円となり、総額77百万円となっております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(7) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、従業員数の状況に著しい変動はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,000,000
計	33,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (令和元年9月30日)	提出日現在発行数(株) (令和元年11月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,456,500	9,456,500	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	9,456,500	9,456,500		

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
令和元年7月1日～ 令和元年9月30日	-	9,456,500	-	1,205,123	-	1,195,798

(5) 【大株主の状況】

令和元年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	197,100	2.08
片山 圭一郎	東京都太田区	147,800	1.56
松本 隆男	仙台市太白区	147,000	1.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	99,900	1.06
CREDIT SUISSE SECURITIES (EUROPE) LIMITED MAIN ACCOUNT (常任代理人 クレディ・スイス証券株式会社)	ONE CABOT SQUARE LONDON E14 4QJ (東京都港区六本木1-6-1)	73,000	0.77
中田 勇	東京都練馬区	72,600	0.77
マネックス証券株式会社	東京都港区赤坂1-12-32	67,674	0.72
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町1-4	62,200	0.66
ツチヤ総建株式会社	神奈川県大和市深見西6-3-28	45,300	0.48
金子 藤雄	埼玉県坂戸市	40,200	0.43
計	-	952,774	10.08

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

令和元年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,447,800	94,478	-
単元未満株式	普通株式 7,800	-	-
発行済株式総数	9,456,500	-	-
総株主の議決権	-	94,478	-

(注) 「単元未満株式」欄には、自己株式12株が含まれております。

【自己株式等】

令和元年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社フライトホール ディングス	東京都渋谷区恵比寿 4-6-1	900	-	900	0.01
計	-	900	-	900	0.01

(注) 「自己名義所有株式数」及び「所有株式数合計」の欄に含まれない単元未満株式が12株あります。なお、当該株式は上表の「単元未満株式」の欄に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（令和元年7月1日から令和元年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成31年4月1日から令和元年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	332,591	157,167
売掛金	129,212	503,942
商品	97,022	37,122
原材料及び貯蔵品	19,581	12,006
仕掛品	140,783	133,935
前渡金	43,856	589,846
その他	31,224	25,229
貸倒引当金	1,000	1,000
流動資産合計	793,273	1,458,249
固定資産		
有形固定資産	31,468	68,995
無形固定資産	4,481	8,523
投資その他の資産	65,050	74,448
固定資産合計	101,001	151,967
資産合計	894,275	1,610,216
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,887	140,516
短期借入金	84,866	506,660
前受金	13,442	366,426
受注損失引当金	16,700	-
その他	57,679	175,282
流動負債合計	318,576	1,188,885
固定負債		
長期借入金	209,455	219,457
資産除去債務	14,916	14,916
その他	3,685	1,600
固定負債合計	228,056	235,973
負債合計	546,632	1,424,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,205,123
資本剰余金	1,195,798	1,195,798
利益剰余金	2,052,812	2,216,255
自己株式	1,360	1,360
株主資本合計	346,749	183,306
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	892	2,051
その他の包括利益累計額合計	892	2,051
純資産合計	347,642	185,358
負債純資産合計	894,275	1,610,216

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
売上高	609,439	1,153,566
売上原価	535,021	907,423
売上総利益	74,418	246,142
販売費及び一般管理費	319,186	377,135
営業損失()	244,768	130,992
営業外収益		
受取利息	996	54
為替差益	33,441	-
助成金収入	-	2,713
その他	776	107
営業外収益合計	35,215	2,876
営業外費用		
支払利息	10,662	24,892
支払手数料	-	8,779
その他	24	713
営業外費用合計	10,686	34,385
経常損失()	220,240	162,501
税金等調整前四半期純損失()	220,240	162,501
法人税、住民税及び事業税	190	941
法人税等調整額	1,700	-
法人税等合計	1,890	941
四半期純損失()	222,130	163,443
親会社株主に帰属する四半期純損失()	222,130	163,443

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
四半期純損失()	222,130	163,443
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,987	1,158
その他の包括利益合計	1,987	1,158
四半期包括利益	224,118	162,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	224,118	162,284

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	220,240	162,501
減価償却費	15,901	14,553
支払利息	10,662	24,892
売上債権の増減額(は増加)	319,011	374,729
たな卸資産の増減額(は増加)	67,156	74,323
仕入債務の増減額(は減少)	69,915	5,371
その他	47,900	120,964
小計	36,163	549,797
利息及び配当金の受取額	996	54
利息の支払額	10,696	4,834
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	42,902	634
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,366	555,211
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	25,742	39,301
無形固定資産の取得による支出	770	3,228
敷金及び保証金の差入による支出	2,786	7,667
その他	41	2,838
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,340	53,035
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	15,600	422,000
長期借入れによる収入	20,000	15,000
長期借入金の返済による支出	26,547	5,204
その他	61	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,208	431,796
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,014	1,027
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	11,802	175,423
現金及び現金同等物の期首残高	588,860	332,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	600,663	157,167

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
給与手当	79,215千円	88,442千円
支払手数料	61,817千円	72,895千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
現金及び預金勘定	600,663千円	157,167千円
現金及び現金同等物	600,663	157,167

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	464,831	83,385	61,223	609,439	-	609,439
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	464,831	83,385	61,223	609,439	-	609,439
セグメント利益 又は損失()	60,468	169,187	2,646	106,072	138,695	244,768

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自平成31年4月1日 至令和元年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	437,816	636,190	79,558	1,153,566	-	1,153,566
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	437,816	636,190	79,558	1,153,566	-	1,153,566
セグメント利益 又は損失()	66,106	71,816	5,644	11,354	142,346	130,992

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
1株当たり四半期純損失()	23円49銭	17円29銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	222,130	163,443
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	222,130	163,443
普通株式の期中平均株式数(株)	9,455,628	9,455,588

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

（資金の借入）

子会社の株式会社フライトシステムコンサルティングは、各取締役会において、運転資金を用途として、資金の借入を行うことを決議し、下記のとおり、実行されております。

(1)	取締役会決議日	令和元年10月3日	令和元年10月17日
(2)	借入先	株式会社りそな銀行	株式会社みずほ銀行
(3)	借入金額	140百万円	76百万円
(4)	借入実行日	令和元年10月30日	令和元年10月23日
(5)	返済期日	令和元年12月30日	令和元年11月30日
(6)	返済方法	元金期日一括返済	元金期日一括返済

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

令和元年11月6日

株式会社フライトホールディングス
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小松 亮一 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石川 資樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フライトホールディングスの平成31年4月1日から令和2年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（令和元年7月1日から令和元年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成31年4月1日から令和元年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フライトホールディングス及び連結子会社の令和元年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。